

## 7月～9月は「がんばろう日本」

## 節電アクション月間 15%の節電を！

東日本大震災に伴う原発事故により、今夏は大幅な電力不足が見込まれます。そこで東京都教育委員会では、その対応として小・中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒が「節電の必要性への理解」を深め、「節電への意識と意欲」を高め、「節電のための具体的な行動」を実践するため、7月から9月までを「“がんばろう日本” 節電アクション月間」としての取組を行います。

皆さんは現在の日本のおかれた状況は十分に理解していると思います。学校においても15%の節電に向け、こまめな消灯や空調を控えるなどの取組をしています。試行した6月は思いがけない猛暑で、昨年比15%減には程遠い状況でした。各学校、各家庭で目標が達成できないとしたら大規模停電の発生あるいは計画停電の再実施ということにもなりかねません。

被災地では空調が効かない体育館で避難生活を余儀なくされている方々が大勢います。そうした方々に思いを致し、できる限りの節電をお願いします。「我慢でなく、無駄を省く」という意識で節電に取り組んでいると言っていた方がいました。皆さん一人一人に日常生活の中で是非工夫してほしいと期待しています。

## フィンランドから応援メッセージが！

昨年9月からフィンランドに留学している2年生の中村幸太郎君からメールが届きました。遠くフィンランドの地で、東日本大震災支援のため高校生によるチャリティーコンサートが行われたとのこと。帰国直前の中村君に現地での状況を聞きました。

## ①フィンランドでは、今回の震災をどのように報道していましたか？

震災後すぐニュースとなりその後1日2日は特番、新聞一面報道、特集など地震、津波という様々な側面から報道されました。(フィンランド最大の新聞社 HELSINGIN SANOMAT は特派員を派遣し、かなり大きく報道していました) もちろんフィンランドでは地震がないので、まず地震の仕組み、怖さなどを説明しているのが興味深かったです。その後の報道は原発事故がメインとなりヨーロッパの原発事情との比較(ドイツの原発反対、フランスにおける電力の9割が原子力発電によるものなどの事例)、また地理的な面でチェルノブイリとの関連報道が多くなされヨーロッパにということ強く感じました。

## ②このチャリティーコンサートを高校生が開催しよう

としたきっかけを教えてください。

ごく普通の地元の公立高校 Kalevan lukio の音楽コース(この学校には普通科と音楽科があります)と普通科有志の生徒主体で行われました。もともと音楽コースは6月に定期コンサートを行っていましたが、今回のことがあり、急遽チャリティーコンサートにしようとして3月半ばから動き出し、曲選択、赤十字との交渉(送金、募金方法など)、そして開催に至りましたが、ほとんど学校はかかわらず完全に生徒主体で行われました。

コンサートの様子(背景に日本の花、桜が・・・)



統括メンバー (Otso Sillanaukee, Heini Leinonen, Enna Sipponen) と共に。左端が中村君(中央は日本人学生) music teacher Tuomas Rimppe, picture by Lotta kinnunen

## ③この件で、中村君は何か関わったのですか？

たまたまその学校に知り合いがいて、今度こういうチャリティーコンサートがあるから手伝ってくれないかというオファーがあり、企画製作、赤十字社との交渉、当日のスピーチなどを行いました。(他にも Tampere に留学中の日本人学生も加わってくれました) ただ実際のところほとんど私がするようなことはなく、現地高校生が一刻も早くコンサートを、と走り回っていたのが印象に残っています。

## ④コンサートの場所、規模を教えてください。

Finland Tampere(フィンランド第2の都市)にある公立高校 Kalevan lukio ホールで、5月5日午後6時から音楽科生徒及び普通科有志約25名による約2時間のコンサートを行いました。チケット1枚5ユーロ(1ユーロ=約116円)で販売。募金合計額759,65ユーロ、観客130人でした。

## ⑤フィンランドから日本の高校生(青高生)に伝えたいことは何ですか？

私からでは無いのですが現地高校生からメッセージを預かっています。

「いまだにこれが現実に起こったこととは信じられないが、私達と同じ年齢の高校生がこの様な状況に直面していると思うと大変心苦しくなる。そこで何か小さな事でもいいから、はるかシベリアを越えて出来ることは無いかと考え今回のコンサートを開いた。私達としてこのコンサートに来て下さったお客さんの一番の願いはこのお金だけではなく、私達フィンランド人の思いが届くことを心から祈っています。Ganbatte!!」とのことでした。

普通に生活できることに感謝し、節電に協力しましょう！